

民間こども園新設と対応方針に関する説明会 質疑応答内容

【事前アンケートへの回答】

○民間こども園の新設に関すること(アイگرانが回答)

	質問・意見	回 答
敷地・園舎に関する こと	予定地の選定基準は何か。また、所有者との合意は済んでいるのか。	閉園予定の3園と比較的近くの場所であり、江釣子駅とも近く、小・中学校とも近いので連携が図りやすい。 地主様と事業用定期借地権の合意書を結び、合意は済んでいる。
	線路沿いの立地であることについて、どのように不安を払拭しようとしているのか。	高さ1,800mm以上のフェンスの設置、電気錠の設置や各扉の鍵は園児の手の届かない箇所に設置することで、園児の飛び出し防止を図る。
	予定地の近くには中学校もあるため、子どもの声に対して近隣から苦情が上がるのが考えられる。	近隣住民様へは、開園前の期間で個別に説明をさせて頂く予定である。場合によっては、説明会を開くことも検討する。
	隣接する道路が狭いため、送迎の際に不便だと感じる。	保護者が円滑に送迎できるよう、駐車場の配置や、右折入庫禁止等の取り組みも検討していく。
	定員に対して園庭と駐車場が狭いと感じる。	現計画はまだ検討段階の為、多少の変更は可能であると考えているが、基本的な配置等は現計画のもので考えている。
	自然物（砂、土、泥、虫、草花等）に触れながら心地よく四季を味わえる環境の確保はあるのか。	園庭では天然芝を活用し、菜園の活動ができるスペースも設け、草花の他に、実際に食物を植え、収穫し食育の取り組みの一つとしている。また、天候の良い日には戸外活動を行い、自然に触れる機会を積極的に設けている。
新設園の運営に関する こと	保育士の確保はどうなるのか。	・北上市内からの新規の採用 ・当社の「採用戦略部」による養成校からの新卒保育士採用 ・全社員約5,000名のスケールメリットを生かした、社員紹介制度 ・近隣施設からの異動 ・全国転勤可能な「総合職保育士」によるバックアップ体制 上記を基に採用活動を行う予定である。

在園児数から見ると、２・３号の定員が不足しているのではないか。	今後の少子化や、児童数減少の見込みを鑑みて、北上市と調整の上で提示しているものであるが、協議の上で変更は可能である。
転園に際して、制服や教材など新たな費用負担は発生するのか。	基本的には保護者様の費用負担が増えることは行わない。
登園時間と中学生の登校時間が重複するが、事故防止の対策は考えているか。	「見守り隊」を登園ルートに配置し、職員が安全確保に努める。また、門扉は電子錠付きのものを使用し、園児の飛び出し防止も行う。
新設園と職場までの距離の都合上、７時からの開園を希望する。	検討可能である。開園時間等、保育園運営に関する事項については、今後、北上市、保護者等と協議の上決定する。
鳩岡崎保育園では年長児が鬼剣舞を踊るのが楽しみだったので、新設園でも引き継いでほしい。	基本的にはこれまでの公立園での行事や文化を継承し運営を図っていく考えのため、引継いでいく予定。
あいぐらん保育園岡山福浜町で発生した不適切保育について、再発防止に向けた対策はあるのか。保育士の処分だけでは納得ができない。	園ごとに、人権保育の研修等を行っている。年１回行われる全社員での研修や、エリアごとの施設が集まって研修を行う、「園長塾」では、「子どもたちの保護者様が隣にいて出来ないことは不適切保育に該当する」という事を念頭に置き、職員全員に周知を行っている。 また、ブラックボックス化させないため、内部通報制度や、社外の弁護士に相談できる窓口も設置している。

○新設・閉園方針全般に関すること(市が回答)

質問・意見	回 答
新設、閉園は決定事項なのか。	・新設に関しては市に決定権があるものではなく、県が認可するものである。 ・閉園に関しては決定ではなく方針であり、御意見を踏まえた上で検討を進めようとするものである。
先生や友達など子どもを取り巻く環境変化について、安心して移行できるよう検討していることはあるか。	移行直前の年度において、公立園と新設園で職員の引継ぎなどを行うことを想定している。
園児が集約されることにより人手不足が懸念されるが、新設園における職員1人あたりの担当園児数は。	国が定める配置基準（0歳児3:1、1・2歳児6:1、3歳児20:1、4・5歳児25:1）を満たすことが認可の要件となる。
病児保育、児童発達支援事業所を必要とする割合はどの程度なのか。また、それを新設園に移行する必要があるのか。	両事業とも現状において江釣子地区に実施施設がないため、新設により多様な子育て支援サービスの充実につながるものと捉えている。

○公立施設閉園の方針に関すること(市が回答)

	質問・意見	回 答
閉園方針全般に関すること	新設に伴う課題として定員過多が上げられているが、それであれば新設自体が不要なのではないか。	「第2期北上市子ども・子育て支援事業計画」において、効率的運用と集団規模確保のため認定こども園化などを行う旨を示しており、この内容について早期の対応が可能となることから、新設を前提に対応を進めようとするものである。
	今回の民間委託にあたって入札は行わなかったのか。	本案件はアイグランが認定こども園を新設し、運営しようとするものであり、市の委託事業ではないため入札は行っていない。
	本来は入園前に告知をするべき。なぜこの時期の公表となったのか。	新設の申し入れを受けた後に検討を進めてきたものであるが、対応方針が固まる前に新年度入園の申し込みが開始となったため、混乱が生じないように公表時期に配慮したもの。
	3園全てを閉園ではなく、1つの公立施設に集約することでもよいのではないか。	民間でできるものは民間が担うという市の基本的な考え方をベースに、アイグランによる認定こども園に集約する方針で考えているものである。

	江釣子地区から公立園がなくなることについて、市ではどのように考えているか。	公立・民間立の違いによって一概に良し悪しがあるものではなく、実情に応じて必要な保育量を供給することが市の責任だと考えている。
閉園後の対応に関する事	公立施設の職員について、閉園後はどこに配属されるのか。また、市の保育士の採用は今後減っていくのか	・仮に閉園した場合、正職員については、他の公立施設に配置することとなる。会計年度任用職員については、新設園での任用が検討されている。 ・今後の採用については、園児数に応じて検討することとなる。
	仮に閉園した場合、跡地はどのように活用するのか。	閉園が決定していないため、現時点で想定はしていない。一般的には公売が原則であるが、活用法を検討した上で方向性を決定することとなる。
園児・保護者への影響に関する事	閉園する園に在籍する子どもは、必ず新設園に入れるのか。	在園児については、希望者全員が新設園へ入園できるよう調整する。仮に他の園を希望した場合、加点をした上で利用調整することを想定している。
	通勤経路から外れることになるので困る。	新設園も同じ江釣子地区に設置されることから、御理解をいただきたい。 なお、経路の都合等により他の園を希望する場合は、加点をした上で利用調整することを想定している。
	年長クラスの年に転園となるのは、子どもの精神的負担が大きくなるものと考ええる。在園児が卒園するまでは存続すべき。	開園と閉園の時期をずらすことにより、新設園への転園時期にばらつきが出るため、教育・保育に必要な集団規模を確保できなくなるリスクがあると考えている。